

国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト
2014～2015 年度 国内研修報告書



と き:2015 年 6 月 5 日(金)～6 月 7 日(日)

場 所:沖縄県

<国内研修ねらい・目的>

- ・アクター相互の人間的なふれあいによって相互理解を深め、豊かな人間性を育てる。
- ・沖縄の歴史的文化に触れるとともに、文化や歴史的遺産に接し、多様な地域特性の違いを認識する。
- ・ローターアクトとして、この研修を通して研修の意味を理解する。
- ・将来にわたり我が国の平和を築く一員となるための心と態度を養う。
- ・沖縄のローターアクターとの親睦を深め交流する。
- ・国内研修の良き思い出をつくる。

<参加者>

参加者(敬称略)

ロータリークラブ(敬称略)

蝦名 大典(札幌幌南 RC)

西村 英晃(恵庭 RC)

ローターアクトクラブ

後藤 康友(札幌幌南 RAC)

森 浩一(赤平 RAC)

吉田 剛(札幌幌南 RAC)

高橋 めぐみ(赤平 RAC)

伊東 かほり(札幌幌南 RAC)

関戸 祥子(赤平 RAC)

川端 さなえ(札幌幌南 RAC)

野口 暢子(赤平 RAC)

白木 郁江(千歳 RAC)

<スケジュール>

1日目(6月5日) 『グルメ堪能』

★移動★

9:00~10:35 新千歳空港~羽田空港

11:00~13:15 羽田空港~那覇空港



↓

★『千日』にて昼食★

カキ氷や沖縄そばの食文化を知る。





第 2580 地区代表ノミニー 比嘉 康二様の案内で

★『瑞泉酒蔵』見学★



★沖縄ビーチリゾートホテル 喜瀬ビーチパレスホテル(名護)到着★



★『お BAR』で夕食★

あぐー豚の蒸籠蒸しなどを堪能



★比嘉 康二様が経営するお店で泡盛を頂く★



2日目(6月6日) 『沖縄アクターとの交流』

★御菓子御殿訪問★



★パーラー千里で昼食(タコライス発祥の店)★



★美ら海水族館訪問★





★SEAMEN`S CLUB 米軍基地内で夕食★

沖縄ローターアクトと交流



★儀部 頼人様(那覇西ロータークラブ)が経営しているBARへ★

6月23日の慰霊の日に向けて千羽鶴折りをお手伝い

112羽の鶴を作成し、鎮魂の思いを込める



3日目(6月7日) 『自由行動』

A班：パイナップルパーク訪問



B班：バナナボート体験 & 首里城見学



★移動★

16:45～19:20 那覇空港～羽田空港

20:30～22:00 羽田空港～新千歳空港



帰宅

★お疲れさまでした★

沖縄国内研修を終えて

札幌南ローターアクトクラブ 後藤 康友

6月5～7日の3日間で沖縄本島に研修に行かせていただきました。出発前から天気予報は「雨」「曇り」と先行き不安な旅でしたが現地のアクターとの交流中は何とか雨にあらずに過ごすことが出来ました。

初日は次年度代表の比嘉さんに空港まで出迎えていただき、酒蔵見学の案内をして頂きました。同じアクターとは思えぬ話術で泡盛作りの説明や歴史などを語ってくれました。

夕食後には那覇市で比嘉さんが経営する泡盛 BAR に日中のお礼も兼ねてお邪魔し、おいしい泡盛をごちそうになりました。

2日目は朝から比嘉さんの他に3名のアクターが合流し沖縄の案内をしていただきました。



予定していた鍾乳洞散策は雨天中止となってしまう急遽わがままを言って海ぶどうの養殖所に連れて行ってもらった後、美ら海水族館へ。

夜は SEAMEN'S CLUB という米軍基地の中にある会員制のお店を予約して頂き、美味しいステーキを頂きました。普通に旅行に行ってもまず入ることの出来ない場所で少しドキドキしましたが、周りに外人さんはいませんでした…。夜はアクトOBであり現ロータリアンの儀部様のお店に行き、6月23日の慰霊の日に向けて千羽鶴折りを行いました。高校の修学旅行以来の千羽鶴で全く折れず、苦戦しながら何とか作りました（他の皆さんの半分程度ですが）

朝から晩まで時間を調整してまで沢山の那覇ローターアクトクラブ・那覇西ローターアクトクラブの方に一緒に交流して頂き、アクトのテーマである親睦を深めることが出来たのではと感じます。普通に生活していたら関わることのなかったであろう沖縄の方とアクトを通じて知り合い、今後も繋がっていけるといのはアクトに入らなければ経験出来なかった事であり、この国内研修の意義はそこにあると思います。このような機会を与えて頂いた提唱ロータークラブの皆様には本当に感謝しております。今年是国内研修という事で沖縄に行きましたが、これからも国内や海外研修に行く機会を与えて頂き、2510 地区のアクターがより成長できる場を持てるようにご協力お願い致します。本当にありがとうございました。



2015年度国際ロータリー第2510地区国内研修報告書

札幌南ローターアクトクラブ 吉田剛

平成27年6月5日～平成27年6月7日の日程で沖縄県のローターアクトクラブと交流会を実施した。現地のローターアクトクラブ比嘉さんとロータリークラブ儀部さんが二日間案内役をして頂いた。



6月5日は到着後泡盛の製造工場を見学した。

(写真：泡盛の歴史・製造法を説明する比嘉氏。)

元々は中国から伝承され沖縄独自の進化を遂げていったと解説された。また、自身も会員制の泡盛のバー「泡盛倉庫」を運営している。



6月6日は天候が優れず、予定を一部変更した。沖縄は、日本本土や北海道とも違う独自の食文化を持っており、豚足やミミガー、豆腐に泡盛を入れて発酵させる「豆腐餅」など北海道では専門店ではしか食すことができない。今回は、食文化に触れるという観点から「イルカ」を食べました。

(写真はイルカの燻製) 味

は生臭いというか、獣くさいというのか何とも形容しがたい味だった。近年、映画などにもなり一部で社会問題となっているようだが、水族館のショーを見るのは良いが、食べるものでは無いと感じました。



上記写真は平成27年6月23日沖縄県で毎年開催される「慰霊の日」で現地ローターアクトクラブがボランティア活動の一環で千羽鶴を届けている。私たちRAC、RCも鎮魂の祈りをこめながらお手伝いをさせて頂いた。

沖縄県に行って感じたことは、すれ違う自動車は、軽自動車が非常に多く事故で損傷した後も修理をしていない自動車が目立ちました。現地の方にお話を聞いたところ、沖縄は離島なので自動車自体も高いため、本土で使われた自動車の中古車として沖縄県内に流通するとのことでした。一方、ガソリン価格は本土より税金が数円安くなっているはずですが、看板に値段を掲示しているガソリンスタンドが殆どなく、実際に給油してみると北海道のフルサービスのスタンドと変わらない価格設定でした。おそらく、観光客が多いが故に高めの価格設定をしているのではないかとおもいました。

今回の研修を通して、沖縄のクラブの方々はとても親切にしてくださいました。これからも相互に交流を深めて行きたいと感じました。また、沖縄のみならず他のクラブが札幌へ来たときも、分け隔て無く精一杯お持てなしをし、ご縁を大切にし、より深い親睦を図っていきたいと思います。

以上

国内研修（沖縄）に行って

札幌南ローターアクトクラブ 川端 さなえ

平成27年6月5日～7日にかけて、国内研修（沖縄県）に行かせていただきました。今回は、沖縄那覇西ロータークラブ・ローターアクトクラブの方々と交流や、沖縄をガイドしていただきました。

交流の一つのイベントとして、沖縄は戦後70年で慰霊の日（6月23日）に千羽鶴を奉納するということで、折り紙で鶴を折るお手伝いをしたほか、バナー交換も行いました。懇親会後は、アクトの方が勤務されている泡盛のお店で沖縄の方そして2510地区のメンバーとも楽しく交流することができました。



観光では沖縄ローターアクトの案内のもと、瑞泉酒造の見学・美ら海水族館・タコライスのお店・海ぶどうの工場・パイナップルパークなど、沢山めぐることができ沖縄を満喫することができました。沖縄のアクトにはお忙しい中ガイドをしていただき、感謝しています。ありがとうございました。

2日目までは天気が悪かったのですが、3日目は天気にも恵まれ、北海道ではあまり見ることのできない青くて透き通るきれいな海に入ることもできました。

沖縄でしかできない貴重な体験ができたのと、アクトメンバーとの親睦・交流の機会を与えてくださり、ありがとうございました。



沖縄国内研修に参加して

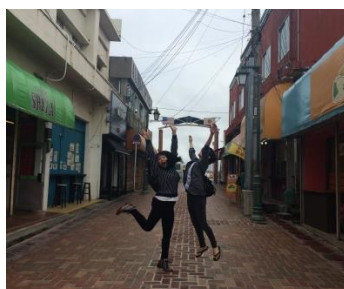
札幌幌南ローターアクトクラブ

伊東かほり

6月5日から7日まで沖縄国内研修に参加させていただきました。今回は、①沖縄の文化や歴史を学ぶこと、②現地ロータリアン、ローターアクトクラブの方々との交流を図ること、③沖縄戦で亡くなった方々の慰霊碑に捧げる折り鶴作成、以上3点を目的として3日間研修を行いました。

初日は泡盛酒造の見学を行い、現地アクターの方から泡盛の製造や歴史について教えてもらいました。2日目は現地の食文化に触れました。海ぶどうの養殖場を訪問、またイルカを初めて食し独特な味に驚きました。その後美ら海水族館でイルカのショーを見た際は感慨深いものがありました。その後沖縄に駐留する海兵隊のために作られたレストラン **Seamen's Club Naha** で現地ロータリアン、ローターアクトクラブの方々と食事をしました。日本でも北と南で最も距離が遠く、気候も異なりますが、アクトの活動に対する思いは変わらず、生活の違いや方言について離すうちにすぐに打ち解け、楽しいお食事会になりました。その後、沖縄戦で亡くなった方々の慰霊碑に捧げる折り鶴を折り紙で作成しました。沖縄戦では多くの住民の方々や学生も命を落としました。私たちの暮らす現在の日本の平和に感謝するとともに、もう二度と戦争は起きて欲しくないという思い、そして世界の国々で起きている戦争について考えさせられました。今回平和への思いを込めて作成した合計112羽の折り鶴を、千羽鶴に含めて頂き、6月23日の慰霊の日に捧げていただく予定です。

今回の研修では現地ロータリアン、ローターアクトクラブの方々に暖かく迎え入れて頂き、私たちの希望を叶え様々なところに連れて行ってもらい、とてもお世話になりました。この機会を今後につなげ、継続して沖縄の方々と交流していきたいと考えています。入会して初めての研修旅行で緊張もありましたが、同行して頂いたロータリアンの皆様、ローターアクトのメンバーには、楽しく充実した研修を行うことができたことに感謝申し上げます。また、3日間という短い期間ではありましたが、かけがえのない出会いと貴重な経験ができました。このような研修に行く機会を与えて下さり、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



【2510 地区 国内研修】

千歳ローターアクトクラブ 白木 郁江

●目的・・・沖縄ローターアクトクラブとの交流

2015年6月5日から2泊3日で今年度は国内の研修へ行かせて頂きました。

1日目、新千歳空港でメンバーと待ち合わせの後、沖縄へ。

那覇空港に沖縄ローターアクトの比嘉康二さんがお出迎えに来て下さいました。

そのまま那覇でのおススメのお店に案内して下さり【千日】(せんにち)へ。

沖縄のぜんざい屋さんの中でも1番の老舗だそうです。北海道では温かいお汁粉のようなイメージがある白玉のぜんざいではなく、沖縄のぜんざいは、かき氷のような物でした。

※沖縄ぜんざい・・・金時豆や押し麦を黒糖で甘く煮たものにかき氷を載せたものという事です。

ふわふわの氷が美味しかったです。ボリュームも凄いので1つを3人でシェアするくらいがベストでした。

他にも、沖縄そばがあり、こちらもあっさりしていて美味しく頂きました。



←看板。



←右・ぜんざい
300円

←左・沖縄そば
550円

遅いランチ？おやつタイムの後は、比嘉さんのお知り合いの方が経営なさっている、泡盛の酒蔵へ案内していただきました。時間があまり無かったのでじっくりはお話が聞けませんでした。とても比嘉さんの泡盛に対する知識や情熱が深いのだと感じ取れる説明で、個人的にとっても感心してしまいました。

13世紀初頭に西アジアで発達した酒の蒸留技術が、中国からシャム(タイ)を経由して琉球に伝わったと言われています。

昔、泡盛は王様など身分が高い方へ献上する品物だったそうで、そのため首里城の近くに酒蔵が沢山あり、後に太平洋戦争などの影響で首里周辺の酒蔵は大きなダメージを受けましたが、県民の強い意志により泡盛は復興し現在へと至ります。瑞泉酒造は、1887年に創業された琉球泡盛の製造販売元だそうです。



←外看板





←泡盛用のものは日本酒のおちょこより、一回りほど小さい物でした。
泡盛は度数も高いので、ぐいぐい沢山飲むものではなく唇につけるような感じで楽しみながら飲むものだそうです。



試飲コーナー →

1 日目の夕飯には豚肉のセイロ蒸しがあるお店で夕飯をしました。
沖縄では、車で走っていますと良く目にするのが【アグー豚】と書かれた看板でした。沖縄では豚を【アグー】と呼ぶのかな？と不思議に思い帰宅後かるく調べてみました。

あぐーは、沖縄固有の貴重な在来豚です。その歴史は古く、今から約 600 年前に中国から沖縄に運ばれ、沖縄で飼い続けられていた島豚が「あぐー」の起源であると言われてい
ます。あぐーは、古くから沖縄の食文化を支えてきました。しかし第二次世界大戦後、豚の
品種改良が進み、「あぐー」は激減してしまい、絶滅の危機に瀕しました。沖縄の固有種
のあぐーがなくなる事に危機感を感じ、

約 10 年かけて雑種化を取り除くための戻し交配が行われました。その結果、戦前に近い形
質を備えたアグーが復元されました。※ネット調べ※

沖縄の首里城なども中国のような雰囲気をしているなど感じていましたが、泡盛や豚(アグー)も中
国から渡ったものなのだと知りました。

2 日は雨の為、水かさが増したために鍾乳洞などの見学はキャンセルになり残念でした。
が、比嘉さんのお話で、沖縄ではイルカや山羊を食べますとのお話を聞き、イルカなどを出してい
るお店へ……。イルカは網などにかかってしまったものなどを食用にしているみたいです。



←メニュー表

ヒートゥがイルカの事です。



←イルカの燻製 ↓ 竜田あげ



イルカを食した後に、生きている可愛いイルカのショーを見てきました。
飼育員さんの合図で跳ねるイルカは利口だなと思いました。イルカを食したからか罪悪感が……。
豚も牛も家畜すべてが哺乳類なんですけど食べなれていないせいか不思議な気分でした。

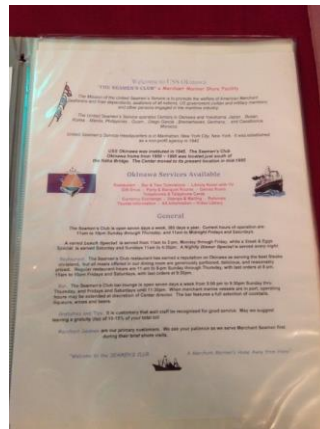


↑ 熱帯魚とイルカショー

2日目の夕飯は那覇軍港内にあるシーメンズクラブという米軍のレストランへ。
儀部頼人さん(那覇西 RC)同行の元で入店。普段はなかなか入店出来ないと思います。



← 外観



← メニューも英語

せっかくなのでステーキをみんなで注文しました。



← 吉田君
← かほりちゃん



レストラン以外にはBARもありました。

その後は場所を移動し儀部頼人さんが経営しているBARへ。

那覇西RACがボランティア活動として毎年行なっている「慰霊の日ボランティア清掃」で今回は「千羽鶴」も作る事になっているようで私達も全員で千羽鶴を折る事に参加しました。



↑ 儀部頼人さん(那覇西 RC)と恵庭RC西村英晃さん



引率してくださいました、札幌江南RCの
蝦名さん(右側)
那覇西RCさんとのバナー交換中。

3 日目は各自、帰省の時間まで自由時間があり、やっと晴れたこともありビーチで遊ぶグループとパイナップルのパークへ行くグループに分かれました。



← 左・野口 暢子ちゃん
中央・伊東かほりちゃん
右・後藤 康友さん



←その後は首里城へ。

←門がいくつもありました。



←園比屋武御嶽石門（そのひゃんうたきいしもん）
守礼門のわきにある石門と周辺一帯の森を『御嶽（うたき）』とよんでいます。国が首里城から出かける時は、ここ園比屋武御嶽石門で道中の安全を祈願していました。2000年12月『琉球王国のグスク及び関連遺産群』が日本で11番目の世界遺産として文化遺産に登録されました。



歴史的に貴重なものが沢山あり、撮影可のものと撮影不可の部分や品がありました。



←国王印



←個人的に1番に興味があったのが海ブドウの養殖場でした。比嘉さんと伊礼さん同行で案内していただきました。海ブドウは光をあてている時には綺麗な緑色ですが、箱などに入れておくと白っぽく透明になるそうです。500gを購入して自宅で放置しましたら透明になっていました。光に数時間あてて放置してみたら緑に戻り不思議な生体だなと感じました。ちなみに海ブドウは

10度以上20度以下の常温で保存します。冷蔵庫では萎んでしまうそうです。

今回、引率してくださいました蝦名さん、西村さん。3日間も那覇を案内して下さった那覇西RACの皆さん、那覇西RCの儀部さん貴重な体験を有り難うございました。

一般的な観光では入れないような施設なども体験でき、とても楽しかったです。

沖縄の言葉、特に宮古島の言葉は同じ沖縄の方でも何を話しているか解らないなど色々現地のお話も聞いて興味深い事が沢山ありました。

今回、このような機会を通して沖縄の方々と出会えた事は今後もRACとして何かの形で繋がりを持ち続けて行きたいなと思いました。

～以上

国内研修に参加して

赤平ローターアクトクラブ

森 浩一

2015年6月4日（金）～7日（土）にかけて、沖縄へのローターアクト国内研修に参加した。目的は、2510地区アクトと現地のアクトとの交流であった。

1日目、午前9時、新千歳にて、ローターアクト委員長に見送られ、那覇へ出発。14時頃、那覇空港に到着。現地のロータリー、アクトの方と合流、挨拶を済ませ、車を借りるため、レンタカー会社へバスにて、移動。この際、やはり北海道の夏とは、また違った厚さを感じる。車を借り、昼食を摂る予定の店（千日）へ移動、那覇市内の道路はとても狭く、運転が大変そうだった。20分程で店に到着。各々、沖縄そば、アイスぜんざい等を食す。特にアイスぜんざいは、かき氷の様な印象で氷がとても柔らかかった。食事後、首里の泡盛酒造（瑞泉酒造）へ移動。

20分程で酒造に到着。酒造内、資料館、酒蔵等を見学。現地のアクトの方が、泡盛を専門に提供するバーを営んでいるためか、造詣が深く、歴史や蒸留方法、飲み方について、わかりやすく説明してくれ、大変なになった。現地のアクトの方と別れ、名護市の宿泊ホテル（喜瀬ビーチパレス）へ移動。ホテル近くの食事所で夕食。様々な沖縄料理を堪能した。その後、現地のアクトの方が営むバーへ行き、交流。泡盛のことや沖縄の独特な食文化について、学ぶことが出来た。その後、ホテルへ戻り、1日目終了。

2日目、午前9時、ホテルを出発。お菓子御殿、海ぶどうの養殖場、道の駅等を訪れ見物。11時頃、タコライス発祥の店（パーラー千里）にて、昼食。量が多く、とても美味しかった。その後、天候不良により、鍾乳洞探検ツアーが中止になったため、かわりに美ら海水族館を見物。巨大水槽のジンベイザメへの餌やりは、とても迫力があつた。その後、現地のロータリー、アクトの方と再び合流。レストラン（ユナイティドシーメンズサービス）にて、交流会実施。現地のアクトの方から、沖縄の文化、生活の話が聞け、大変有意義であった。交流会終了後、二次会会場へ移動。二次会にて、沖縄の慰霊の日（6月23日）のため千羽鶴を折る、現地のアクトの活動に協力。少しでも役に立てればと、心を込めて折った。今回、ガイド等、もてなしてもらったお礼として、参加アクトより、ジンギスカンを贈ることを約束した。二次会終了後、ホテルへ戻り2日目終了。

3日目、午前10時、ホテルを出発。自由行動であったため、土産物店（ナゴパイナップルパーク）等を巡った。沖縄のフルーツや果実酒を試食や試飲し、楽しく過ごした。その後、再び那覇空港へ、16:45新千歳へ出発、22時到着、解散となった。

以上、私の国内研修のレポートである。今回、国内研修に参加し、私的な旅行では出来ない経験が、たくさんできたと思う。現地のロータリー、アクトの方と交流、沖縄の文化、食生活に触れることが、出来、大変有意義であった。今回、経験、学んだことを今後の社会生活に活かしていきたいと、思う。

沖縄研修に参加して

赤平ローターアクトクラブ

関戸 祥子

この度、私たちは6月5日～7日、沖縄研修旅行に参加させていただきました。沖縄は観光スポットや美味しい食べ物が多く、毎年多くの観光客が訪れる地であり、私も以前訪れたことがあります。今回も沖縄のローターアクトクラブ・ロータリークラブの皆さんとの交流を除いては観光名所を訪れる内容であり、研修としての意識よりは、卒業前の最後の旅行を思いっきり楽しもうと思い参加しました。

ところが、参加してみて感じたことは、「交流」は私が思っていたよりはるかに多くのことを学ぶきっかけを与えてくれました。そのひとつに食文化の違いがあります。沖縄ではイルカ肉（ヒートゥー）を食べるということを知りました。アクターによると、そのような料理はあるが食べたことはなく、噂によると美味しくはないとのことでした。逆に、北海道の一部の地域でトド肉が売られていることに大変驚かれています。そのような話の中から、せっかく沖縄に来たのだから食べてみよう、となるのもローターアクトのいいところかと思います。料理店を教えていただき、那覇西ローターアクトの皆さんと一緒に初めてのイルカ肉を燻製や唐揚げ、ステーキで食べました。結果、臭くて美味しいものではなかったのですが、一生忘れないとても良い経験になりました。

また、那覇西ロータリークラブの方の紹介で米軍基地内のレストランでステーキをいただきました。「米軍」というフレーズはニュースで事件やそれに伴って様々な問題が取り上げられているのを目にしていますが、遠い存在でどこか自分には関係ない場所での話に思えていましたが、沖縄ではこんなにも身近で生活に密着していることを肌で感じ、再認識させていただきました。

そして、那覇西ローターアクトには、慰霊の日に千羽鶴を送るという活動がありお手伝いさせていただきました。私は、終戦記念日はメディアで取り上げられることが多いので年に一度その事を思うことはありますが、生活の中で意識することはありませんでした。しかし、沖縄では慰霊の日があり、アクトの皆さんの戦争への思いや知識は私とは比べ物にならないものでした。それでは恥ずかしく情けないと思い、北海道に帰ってきてから調べたりもしました。それを自地区・自クラブに伝えることや、地元について見つめ直し私たちが今行うべきことについて改めて考え、実行していくことが必要であると思いました。

このようにアクトの研修だから経験し学ぶことが出来たものが多く、改めてローターアクトの素晴らしさを感じました。

今回このような経験が出来たのは、自地区や沖縄のロータリークラブ、ローターアクトの仲間のおかげであり感謝しています。皆さん、ありがとうございました。

最後に、沖縄で数回耳にした素敵な言葉を紹介し、私の報告とさせていただきます。

「いちゃりばちよーで一、やいびんどー。うまんちゅぬくるや、ゆいまーるさあ！」

(※沖縄の方言で「一度会ったら皆兄弟、皆の心は助け合いの気持ちだよ」という意味)

国内研修報告

赤平ローターアクトクラブ

高橋 めぐみ

今回の国内研修は沖縄県で二泊三日の日程で行われました。私は2008年3月にも国内研修に参加し沖縄県を訪れていたため今回で2回目となりました。

前はアクトに入会して日が浅かったため、先輩方に付いて行くのがやっとだったことを覚えています。しかし、沖縄の歴史や文化に触れ様々なことを学ぶことが出来ました。

6月の沖縄は梅雨真っただ中で、気温約30度、湿度は90%程、天気は曇りで雨が降ったり止んだり、北海道では体験したことのない環境でした。同じ国内でこんなにも違うとは大変驚きました。

今回の研修の最大の目的は、沖縄のアクターとの交流でした。研修初日から空港でお出迎えいただき大変お世話になりました。

泡盛工場見学では、アクター自ら泡盛の歴史や工場内の案内、種類や飲み方等を詳しく説明していただきました。抜群の知識と引き込まれてしまうテンポの良いお話、自慢の陶器で試飲をさせて頂くなど、泡盛に対する情熱を感じる事が出来ました。

この研修で一番印象に残っていることは、皆で折り鶴を作ったことです。沖縄県では毎年6月23日を慰霊の日とし、沖縄全戦没者追悼式が行われているそうです。沖縄のアクトでは毎年追悼式に千羽鶴を贈っているとのことで、今回私たちもそのお手伝いをする事が出来ました。鶴を折るのは久しぶりだったので、最初は戸惑うこともありましたが心を込めて一生懸命折りました。黙々と鶴を折っていると、前回の研修で訪れたひめゆりの塔を思い出しました。私たちよりも若い学生の多くが戦争の犠牲となってしまった悲しい歴史です。戦争を知らない世代がこのように毎年千羽鶴を折り追悼を行うことは、戦争について考える良い機会になっているのだと思いました。悲しみや苦しみが生まれない戦争はもう二度と繰り返してはいけません。私たちは縁あってローターアクトクラブに所属しておりますが、世界中にあるこのクラブの一員であることをもっと活かし、世界の若者と交流を通し平和について考えれば未来の希望に繋がると私は思いました。

私は今年度卒業を迎えます。アクトを通し様々な素晴らしい経験をさせていただき、友達も沢山出来ました。社会人になって、こんなにも素敵な仲間に出会えるとは夢にも思いませんでした。私をアクトに誘っていただいた先輩、これまでご尽力いただいたロータリアンの皆様方にも心から感謝しております。この経験はこれからの人生で必ず私の力となってくれることと思います。

国内研修を終えて

赤平ローターアクトクラブ

野口 暢子

今回、6月5日～6月7日までの2泊3日の日程で、国内研修として沖縄県を訪れた。沖縄県にはこれまでに1度訪れたことがあったが、そのときの観光とは全く異なった視点で新鮮な気持ちで様々な文化に触れることが出来た。

特に印象に残ったのは、①食文化の違い②戦没者への想い③人の温かさの3点であった。

①食文化の違い

北海道でよく食べるジンギスカンをはじめとした羊肉が他の地域では不思議思われることと同様に、沖縄県では『イルカ』を食する文化があり、とても驚いた。にわかには信じられないと思いつつ、食事をしながら「命をいただく」ことのありがたさを再認識した。

イルカ以外にも、『沖縄そば』や『海ブドウ』、『タコライス』、『泡盛』など普段北海道ではまず食べる事の無い食文化に触れた。『泡盛』においては、これまで敷居が高く遠い嗜好品のように感じていたが、現地を案内してくださった比嘉さんによる酒造工場で製作行程の流れをお教えいただくうちに、身近に感じる事ができた。

今回の行程で、その土地に根付いた郷土料理が日本国内にたくさんあるということを経験させて頂くきっかけになった。

②戦没者への想い

毎年、沖縄県では戦没者へ鎮魂の思いを込めて折り鶴を折り進呈しているとのこと。もちろん私は戦争を経験したことは無く、祖父が外国の戦地で戦った実体験でしか知ることが出来なかった。しかし、沖縄県は日本国内で唯一地上戦が行なわれた場所であることから、様々な場所で戦争の跡が見受けられるとともに私たちと同世代の人たちの関心も高く感じられた。「遠い国の話」ではなく、同じ日本で起きた事実としてもっとその歴史や痛みを共有しなければならないと願いを込めながら千羽鶴作成を手伝わせて頂いた。次年度以降についても、千羽鶴の作成をローターアクトで行い現地ローターアクトの皆さんと交流を続けていければと感じた。

③人の温かさ

この3日間の行程のなかで、多くの人たちにお世話になった。現地を案内して頂いた、ローターアクトクラブの方や、ロータリアンの方々。我々を楽しませるために趣向を凝らしたおもてなし（ホスピタリティ）に感心するばかりであった。

今回このような機会を頂戴したことを心から感謝し、次年度以降につなげていきたい。

発行日 2015年6月

編集 2014-2015年度 赤平 RAC 野口 暢子

E-mail:noguchi.yoko1011@gmail.com(野口)